

平成27年度社会福祉法人北海道家庭学校事業報告書

(総括)

1. 6月1日付で仁原正幹理事が熱田洋子常務理事に代わり常務理事となりました。北海道との交流人事により迎えた泉親志自立支援部長が2年間の任期を終え道に戻り、交流人事も27年度末をもって終了としました。4月に事務員を1名採用しました。3月末に児童自立支援専門員1名、児童生活支援員1名が退職しました。

2. 27年度の暫定定数は32名でした。27年度中に入所した児童数は18名、退所した児童数は14名でした。28年3月の初日在籍数は31名で、月末の在籍数は21名でした。

3. 自立支援の状況

(1) 個別的・専門的な対応に必要な児童への配慮

入所児童のうち被虐待経験のあるケースが約6割、発達障害を抱えるケースが約7割おります。劣悪な養育環境のもとで育った児童や、集団の中で生活を送ることが困難な児童が増えています。27年度中に心理士により31名の児童に対して延172回の心理療法を行いました。性的問題を抱える児童に対する心理サポートも、外部の臨床心理士の支援を受けながら年間6回実施しました。

(2) 分校と連携しての学習支援

入所児童は本館において、遠軽中学校・東小学校それぞれの望の岡分校による義務教育の授業を受けています。月曜・火曜・木曜の午後には総合学習として作業を授業の中に取り入れており、家庭学校の職員とともに作業指導に当たっていただいています。行事においては、分校主催の行事、家庭学校主催の行事に加え、共催の行事も開催し、引き続き連携を深めています。

(3) 中卒児童への支援

義務教育を終了している中卒児童への支援は、嘱託職員を中心に、家庭学校の職員も加わり高校進学や就職など、児童それぞれの進路に応じたプログラムを用意して対応しました。

高校生への対応は、遠軽高校定時制への通学時の送り迎えや、実習先への送り迎え、紋別高等養護学校寄宿舎への送り迎えなどを行い、卒業に向けた支援を行いました。

(4) 自立援助ホーム「えんがるの家」(仮称)の設置に向けての準備経過

1) 用地の取得 平成27年4月3日に遠軽町南町1丁目3番137・144に取得しました。
面積は2か所併せて581.89㎡

2) 平成28年度社会福祉施設等整備計画書を北海道に提出しました。

平成27年7月10日 遠軽町民生部福祉課において整備計画を説明、道への協議用の意見書作成を依頼。

平成27年7月11日 土地の前所有者である山田荘一氏の助力を得て、自治会長や

近隣の方々に説明、理解を得た。

北見児相にも説明の上、協力をお願いした。

3) 自立援助ホーム協議会全国大会、ホーム長研修会に参加

4) 既設ホームの見学・研修等

道内外のホーム 13 か所を見学

5) 諸規程の整備や運営の方法について

既設ホームを参考に規程の整備や運営方法について学びました。

6) 家庭学校後援会々報に寄稿しご理解・ご協力を依頼した。

I. 組織体制について

1) 役員

役 職 名	氏 名	役 職 名	氏 名
理 事 長	永 井 信	理 事	佐 藤 京 子
理 事	坂 本 満	理 事	佐々木雅昭
理 事	家 村 昭 矩	理 事	熱 田 洋 子
理 事	森 下 一 彦	常 務 理 事	仁 原 正 幹
理 事	齋 藤 義 信	監 事	辻 一 憲
理 事	太 田 充 子	監 事	枝 松 邦 幸

2) 嘱託医、顧問、苦情解決第三者委員、事故防止対策委員

事故防止対策委員は、秋保利勝氏に代わり高橋久氏に、里見貴史氏に代わり神谷博之氏をお願いしました。

役 職 名	氏 名	役 職 名	氏 名
嘱託医（内科）	瀧 本 玲 子	苦情解決第三者委員	藤 江 昭
嘱託医（精神科）	太 田 充 子	苦情解決第三者委員	熊 谷 憲 子
嘱託医（歯科）	東海林浩二	事故防止対策委員	木 村 一 則
顧 問 弁 護 士	村松法律事務所 村 松 弘 康	事故防止対策委員	高 橋 久
		事故防止対策委員	塚田由美子
山 林 顧 問	森 島 直 樹	事故防止対策委員	神 谷 博 之
山 林 顧 問	佐 藤 盛 市	事故防止対策委員	仁 原 正 幹

嘱託医には、健康診断を中心に入所児童の健康状況を診ていただきました。

山林顧問には、学校林の山林事業を進めるに当たり、指導助言をいただきました。

顧問弁護士には、規程の改正についてご指導をいただきました。

第三者委員及び事故防止対策委員には、合同の会議を開催し、家庭学校と児童の状況をご報告し、ご助言をいただきました。

第三者委員会 事故防止対策委員会の開催

第 1 回合同会議 平成 28 年 2 月 10 日開催

- ・家庭学校の現状について

3) 北海道家庭学校百年史編集委員会

任期 平成 26 年 8 月 30 日から平成 29 年 3 月 31 日まで

委員長	永井 信	社会福祉法人北海道家庭学校 理事長
副委員長	二井 仁美	北海道教育大学旭川校 教授
委員	大泉 溥	日本福祉大学名誉教授
〃	佐藤 京子	社会福祉法人北海道家庭学校 理事
〃	家村 昭矩	社会福祉法人北海道家庭学校 理事
〃	熱田 洋子	社会福祉法人北海道家庭学校 理事
〃	富田 拓	国立きぬ川学院 医務課長
〃	河原 英男	遠軽町教育委員会 教育長
〃	森田 穰	北見市立東小学 校長
〃	仁原 正幹	社会福祉法人北海道家庭学校 校長
〃	軽部 晴文	社会福祉法人北海道家庭学校 企画総務部長
〃	泉 親志	社会福祉法人北海道家庭学校 自立支援部長
〃	平井 敬二	社会福祉法人北海道家庭学校 企画総務部次長
〃	姜 京任	社会福祉法人北海道家庭学校 心理士

編集委員会の開催

第 2 回 平成 27 年 5 月 25 日

- ・百年史の目次構成について
- ・百年史の予算執行計画について

第 3 回 平成 28 年 2 月 12 日

- ・百年史の進捗状況の確認
- ・百年史の執筆要綱について

4) 酪農経営委員会

社会福祉法人北海道家庭学校酪農経営委員会委員

副委員長	紺野 勝歳	NPO 法人地域活性化貢献会議副理事長
	坂本 満	社会福祉法人北海道家庭学校 理事
	佐々木雅昭	〃
	熱田 洋子	〃
	枝松 邦幸	社会福祉法人北海道家庭学校 監事
	平井 敬二	社会福祉法人北海道家庭学校 企画総務部次長
委員長	仁原 正幹	社会福祉法人北海道家庭学校 校長・常務理事

経営委員会の開催

27 年度の開催はなかった

5) 職 員

平成 27 年度在職職員及び事務分掌は、次のとおりです。

職 名	氏 名	職 務 内 容 ・ 事 務 分 掌
校 長	仁 原 正 幹	総括
企 画 総 務 部 長	軽 部 晴 文	企画総務部総括
企 画 総 務 部 次 長	平 井 敬 二	法人本部事務（兼）施設事務・会計
書 記	加 藤 留 美	施設事務（兼）法人本部事務・会計
栄 養 士	伊 東 睦 子	栄養管理 給食献立作成
自 立 支 援 部 長	泉 親 志	自立支援部総括（人事交流で道から派遣）
児童自立支援専門員	楠 哲 雄	主幹 掬泉寮長 園芸班指導
〃	鬼 頭 庸 介	主幹 蔬菜班指導
〃	高 橋 徹	本館職員 山林班指導
〃	坂 本 英 人	向陽寮長 山林班指導
〃	水 原 学	石上館寮長 蔬菜班指導
〃	千 葉 正 義	楽山寮長 校内管理班指導
〃	竹 中 大 幸	本館職員 校内管理班指導
〃	陳 浩	本館職員 園芸班指導
〃	西 本 祥 之	調理担当
児 童 生 活 支 援 員	楠 美 和	掬泉寮母 給食調理
〃	水 原 詩 乃	石上館寮母 給食調理
〃	岸 田 珠 季	楽山寮母 給食調理
〃	藤 原 美 香	本館職員 給食調理
〃	年 藤 香 苗	（北海道との交流人事で旭川児相に派遣中）
心 理 士	姜 京 任	心理担当
職 業 指 導 員	萆 本 賢 治	酪農班担当
〃	萆 本 広 美	酪農班担当
嘱 託	木 元 勤	中卒生学級担当
〃	白 石 明 美	給食調理
〃	武 田 真 紀 子	給食調理

役職員数

理 事	10名
監 事	2名
嘱託医（内科 精神科 歯科）	3名
山林顧問	2名
顧問弁護士	1名
苦情解決第三者委員	2名
事故防止対策委員	5名
酪農経営委員	6名

百年史編集委員

14名

職員数 28名

平成28年3月31日現在

(内 訳)	校 長	1名
	事務職	3名
	栄養士	1名
	児童自立支援専門員	9名
	児童生活支援員	5名
	心理士	1名
	職業指導員	2名
	嘱託職員	6名
	(学科指導員	1名)
	(調理員	2名)
	(嘱託医	3名)

Ⅱ. 理事会に関すること

1. 理事会の開催状況

開 催 日	議 件
第1回 平成27年5月26日	・事故報告について ・平成26年度社会福祉法人北海道家庭学校一般会計予算（第3次補正）について ・平成26年度事業報告及び決算報告について ・仮設教室増築工事に係る入札について ・博物館利用規程の制定について ・人事について ・社会福祉法人北海道家庭学校役員の費用弁償に関する規程の一部改正について ・外部委員の委嘱について
第2回 平成27年11月9日	・自立援助ホームについて ・平成27年度社会福祉法人北海道家庭学校一般会計予算（第1次補正）について ・社会福祉法人北海道家庭学校文書管理規程の制定及び社会福祉法人北海道家庭学校管理規程の廃止について ・社会福祉法人北海道家庭学校情報公開規程の制定について ・社会福祉法人北海道家庭学校個人情報保護規程の制定について ・社会福祉法人北海道家庭学校保有車両管理規程の制定について ・社会福祉法人北海道家庭学校有期契約職員就業規則の制定について

	て
	・社会福祉法人北海道家庭学校ウェブサイト運営規程の制定について
	・礼拝堂の補修工事について
第3回 平成28年3月8日	・理事及び監事の選任並びに理事長の互選について
	・平成27年度社会福祉法人北海道家庭学校一般会計予算（第2次補正）について
	・酪農部トラクター他の新規購入について
	・社会福祉法人北海道家庭学校給与規程の一部改正について
	・平成28年度社会福祉法人北海道家庭学校事業計画及び一般会計予算について
	・社会福祉法人北海道家庭学校特定個人情報取扱規程の制定について
	・社会福祉法人北海道家庭学校就業規則の一部改正について

2. 監事監査実施の状況

平成27年5月21日	平成26年度決算監査
平成27年10月1日	定期監査
平成27年1月29日	定期監査
平成28年3月11日	定期監査

Ⅲ. 諸規程の整備について

関係法制度等の動き、家庭学校の運営や職員の勤務実態に即して、次のとおり諸規程を整備しました。

1. 文書管理規程の制定

- ・文書の管理に必要な事項を定めることにより、事務処理の適正化と能率化を図るために制定した。

2. 情報公開規程の制定

- ・学校が提供するサービスを安心して利用できるよう制定した。

3. 個人情報保護規程の制定

- ・個人情報の取扱についての基本的事項を定め、個人の権利利益の保護及び人格の尊重を図るために制定した。

4. 保有車両管理規程の制定

- ・学校が管理する車両の維持管理及び搭乗者の安全を図るために制定した。

5. 有期契約職員就業規則の制定

- ・期間雇用契約職員等期限を定めて雇用する職員の勤務と待遇等を定めるために制定した。

6. ウェブサイト運営規程の制定

- ・ウェブサイトを通して当校への理解と支援の広がり、情報伝達を迅速に行う事が出来るよう制定した。
- 7. 博物館利用規程の制定
 - ・博物館運営に必要な事項を定め、円滑な運営が出来るよう制定した。
- 8. 役員の費用弁償に関する規程の一部改正
 - ・博物館館長・図書館館長への旅費の支給に関する規程を追加した。
- 9. 給与規程の一部改正
 - ・国家公務員の給与改定と措置費収入における人件費分が引き上げられたため給与水準の引き上げを行った。
- 10. 特定個人情報等取扱規程の制定
 - ・マイナンバー制度の施行にともない、特定個人情報の取扱の基本的事項を定め、適正な運営が出来るよう制定した。
- 11. 就業規則の一部改正
 - ・特定個人情報の制定にともない、就業規則との条文の整合性を図るため一部改正した。

IV.主要工事・改修について

- 1 職員室の拡張工事と、教室を2室増築しました。

職員室拡張・教室増築工事 7, 6 6 8, 0 0 0 円

V.入所児童の現況について

1. 入所児童について

- 1) 27 年度中における児童の入退所状況。

(初日在籍人数及び各月の入退所数)

単位 人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
在籍者数	19	19	18	20	21	24	24	28	31	30	30	30	月平均 24
入所者数	3	1	2	1	3	1	4	3	0	0	0	0	18
退所者数	1	2	0	0	0	0	1	0	1	0	0	9	14

※ 4 月入所 3 名中 2 名が 1 日入所のため、初日在籍数にカウント済み

- 2) 平成 26 年度中における退所者の進路等の状況。

進 路 先		人数	進 路 先	人数
家庭復帰	復 学	1	他の児童福祉施設への措置変更	1
	進 学	6	不結果	2
	就 職	2	その他	1
	その他	1	計	14
直接就職		0		

3) 児童相談所別入退所の状況

単位 人

区分	中央	函館	室蘭	岩見沢	旭川	帯広	釧路	北見	札幌市	計
入所	4	0	1	0	4	1	1	1	6	18
退所	3	0	1	1	1	1	2	0	6	15

2. 寮運営について

寮の運営については、年度を通して4寮（一般寮3 高校生寮1）で行った。

楽山寮担当を千葉正義、珠季夫妻に交代した。

向陽寮担当を夫婦ではなく、本館職員が交代で担当した。

3. 作業班学習について

月曜・火曜・木曜日の午後の週3日、蔬菜班、園芸班、山林班、校内管理班、酪農班の5班に分かれ、作業班学習を行いました。活動内容については11月19日、20日の両日にわたって発表会を行いました。

各作業班における主な活動内容は次のとおりです。

	蔬菜班	園芸班	山林班	校内管理班	酪農班
4月	ビニールハウス補修・造営 苗仮植	花の苗の仮植 温床用ハウス組立	安全講習 薪作 桜山整備	校舎周辺環境整備 スノーボール撤収	バター小屋片付け 電牧張り 牛のブラッシング
5月	野菜苗植え付け 播種	花の仮植 播種 花壇の畑作り	山菜収穫 林道倒木整理	平和寮浴室補修 味噌作り	除草 徐角 牛舎窓拭き サイレージ片付け
6月	野菜の苗の定植 雑草抜き	花の苗定植 花壇の畑作り	山菜収穫 林道倒木整理	平和寮浴室補修 山菜収穫	牧草収穫
7月	牧草収納応援 移殖	花の苗定植 花壇の除草	環境整備	平和寮浴室補修	牧草収穫 サイレージ拡張工事
8月	追肥 野菜収穫	花壇の除草	灌木整理		除草 電牧整備
9月	秋野菜の播種 野菜収穫	花壇の除草 環境整備 花の苗の仮植	林道整備	排水土管交換 サイレージ拡張工事	サイレージ製造 バンカーサイロ作り
10月	野菜の収穫 落ち葉集め 天地返し	ドライフラワー作り 土作り 花壇の後片付け	神社山整備 倒木整理	サイレージ拡張工事	環境整備 バンカーサイロ作り
11月	作業班学習発表会				
12月	野菜の保存	土焼き	除雪	スノーボール設置	バター製造

月				クリスマスリース 作り リフト設置	徐角
1 月	除雪	除雪	除雪 スキー大会準備	間伐	バター製造
2 月	除雪 間伐	播種 育苗 除雪	除雪 スキー大会準備	間伐	除雪 バター製造
3 月	除雪 間伐	温床整備 播種 育苗	間伐	間伐	除雪 バター製造

4. 事故等の発生状況

1) 年度別無断外出の発生状況 () 内の数は一時帰省より未帰校数

	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
件 数	7 (1)	3	6	10	10
述べ人数	16 (1)	8	13	17	17

5. クラブ活動について

5月から10月まで、土曜日の午前中にクラブ活動を実施しました。

種目は バトミントン・合気道の2種目

合気道は、吉野政明先生、棚橋先生、山口先生にご指導いただきました。

6. 年間行事等の状況

4月	6日一学期始業式 13日散髪奉仕 16日内科検診 23日歯科検診
5月	4～5日校長杯（ミニバレー・オセロ） 12日花見の会
6月	3日マラソン大会 8日散髪奉仕 14日運動会 17日コンサート
7月	15日炊事遠足 27日散髪奉仕 28日済美館清掃
8月	2日物故者慰霊祭 3～14日夏季一時帰省 18日二学期始業式 26日相撲大会 29日花火大会鑑賞
9月	7日散髪奉仕 16日マラソン大会 24日創立百周年記念式 30～2日研修旅行
10月	19日園遊会 26日散髪奉仕 26日木彫コンクール
11月	19～20日作業班学習発表会 22日収穫感謝祭
12月	7日散髪奉仕 11日音楽発表会 23日クリスマス礼拝・晩餐会 25～1月7日冬季一時帰省 31日歳末祈祷会

1月	1日新年の式 27日音楽慰問	14日三学期始業式 28日スキー大会（距離）	18～22日スキー学習	25日散髪奉仕
2月	5日スキー大会（滑降） 23日スキー大会（回転）	12日スキー大会（大回転） 26日スキー大会（寮対抗リレー）	12日雪像コンクール	
3月	7日散髪奉仕	21日卒業証書授与式	24日修了式	26～30日春季一時帰省

7. 会議の開催状況

会議を次のとおり行いました。

- ① 職員会議 … 定例開催（毎週水曜日午前）
- ② 成績査定会議 … 成績を査定し、三賞（努力賞・作業賞・学習賞）を決定する。
7月22日 3月16日
- ③ 作業班編成会議 … 4月1日 8月15日 1月8日
- ④ 献立会議 … 毎月1回定例開催

8. 関係機関との連携・打合せ

・児童相談所との連携

児童相談所との連携を深めるため、入所児童の経過判定のための来校時や児童移送で児相訪問時に打合せや意見交換を行いました。校長が全道児相長協議会に出席し、状況説明や要望を行いました。行事の際には各児童相談所に案内しました。

・関係機関との連携

卒業証書授与式には原籍校の校長などが出席しました。行事の際には案内しました。

遠軽高校定時制、紋別高等養護学校とは密接に連携を行いました。

・入所児童の地域への復帰に際し、地元での要保護児童対策地域協議会に出席しました。

陸別町3月25日 自立支援部長 寮長参加

9. 児童自立支援計画票の作成

5月と11月にはすべての入所児童の自立支援計画票を作成し、各児童相談所に送付しました。

VI 職員研修について

職員の資質の向上を図るために、外部の研修会にも参加しました。

校長
・東北・北海道地区施設協議会施設長研修会 4月16日～17日 盛岡市
・全国児童自立支援施設長研修会 5月27日～29日 那覇市
・深川地区保護司会第1回研修会における講師 6月26日 深川市
・全国児童自立支援施設職員研修会における講師 9月30日～10月2日 札幌市
自立支援部長

・オホーツク管内児童福祉施設職員研修会 10月27日 北見市 泉部長 楠主幹
企画総務部 ・社会福祉法人経営者セミナー 6月28日～29日 札幌市 平井次長 ・共済業務新任者研修会 7月13日 札幌市 加藤書記 ・マイナンバー法に対応した社内規程作成実務研修 9月16日～17日 札幌市 平井次長 ・社会福祉施設管理・運営セミナー 11月10日 札幌市 熱田理事 軽部部長 ・社会福祉施設経理取扱実務研修会 11月19日～20日 札幌市 熱田理事 平井次長 ・改正個人情報保護法・マイナンバー法への対応実務研修会 2月3日～4日 札幌市 平井次長
児童自立支援専門員 ・北海道児童相談所等新任職員専門研修 6月22日～24日 札幌市 陳専門員 藤原支援員 ・東北・北海道地区児童自立支援施設協議会職員研修会 11月16日～19日 須賀川市 陳専門員 ・東北・北海道地区児童自立支援施設協議会専門部会 11月25日～27日 仙台市 楠主幹
児童生活支援員 ・東北・北海道地区児童自立支援施設協議会職員研修会 7月15日～18日 秋田市 藤原支援員 ・家族支援手法入門研修 3月17日～18日 札幌市 楠支援員
心理士 ・相談援助技術研修 6月28日～29日 札幌市 ・児童福祉施設心理職員経験交流研修会 9月15日～16日 札幌市 ・東北・北海道地区児童自立支援施設協議会 心理部会 10月7日～10日 函館市 ・全国児童相談研究セミナー 11月28日～29日 札幌市

VIII. 生産活動

1. 山林経営管理について

これまで森林施業計画に基づき計画的に造林や伐採などが行われてきましたが、平成23年4月に森林法の一部が改正され、林班単位の面的まとまりのある森林を対象として森林経営を行うことになりました。平成27年度は、この新たな考え方のもとでの森林経営計画の4年目となり、森林組合に委託して、次の事業を中心に、材木の育成の促進及び健全化のための事業を実施しました。なお、これらの事業を進めるに当たり、山林顧問に相談し助言をいただきました。

家庭学校の所有する山林は、遠軽町から湧別町にまたがって約400ヘクタールで、樹種は、天然林が42%、カラマツが32%、トドマツが23%、他に、グイマツ、ミズナラ、トウヒ、赤エゾマツとストロブが植えられています。

〈林班別の面積・樹種〉

(遠軽町)

- 71 林班 88ha、天然林広葉樹、カラマツ、一部トドマツ
 72 林班 8ha、カラマツ、天然林広葉樹、トドマツ
 73 林班 3ha カラマツ、天然林広葉樹
 74 林班 128ha 天然林広葉樹 (78ha)、トドマツ、カラマツ、グイマツ、赤エゾマツ
 75 林班 82ha、天然林広葉樹 (43ha)、トドマツ、カラマツ、トウヒ、赤エゾマツ
 76 林班 46ha 天然林広葉樹、カラマツ、トドマツ、赤エゾマツ、ストロブ
 (湧別町)
 18 林班 21ha カラマツ、グイマツ
 19 林班 23ha トドマツ、カラマツ

山林事業の実施状況

- ① 下草刈事業 遠軽町留岡 71-4林班外 カラ21.68ha
 (6月) 事業費 1,418,688円 (うち補助金 898,287円)
 ② 森林保護事業(野鼠駆除) 遠軽町留岡 71-4林班外 23.16ha
 (10月) 事業費 136,297円 (うち補助金 97,745円)
 ③ 間伐 遠軽町留岡 75-11林班外 トド5.48ha
 (7月) 事業費 2,476,819円 (うち補助金 1,276,345円)
 材売上 3,140,635円
 ④ 皆伐 遠軽町留岡 71-8林班 カラ 5ha
 (2月) 材売上 3,942,000円
 (事業費差引後)
 ⑤ 造林 遠軽町留岡 71-8・75-9林班外 カラ 7.92ha
 (9月) 事業費 4,318,391円 (うち補助金 4,306,515円)

参 考

合 計		(平成25年度の状況)
○事業費	8,350,195円	(8,342,384円)
うち補助金	6,578,892円	(7,257,155円)
○材売上	7,082,635円	(6,712,532円)
(ただし、皆伐の材売上は、事業費差引後)		

2. 酪農経営管理について

酪農経営については、平成23年度から専門家による指導が始まり、平成24年7月からは紺野先生が毎月1回来校され、27年度も引き続き、レクチャー及び現場指導が行われました。

牛の飼養管理、草地の管理・雑草駆除、現場のデータ蓄積等の全般的な指導を受けながら、牛乳生産やバター製造を行いました。

(1) 家庭学校の草地の状況

	通 称	面積 ha		通 称	面積 ha		通 称	面積 ha
①	向陽寮裏	0.64	⑤	住宅前	0.44	⑨	川口畑(大)	2.73
②	洗心寮前	0.34	⑥	礼拝堂裏	0.39	⑩	川口畑(奥)	1.37
③	神社山	1.42	⑦	四町畑	4.52	⑪	川口畑(小)	0.61
④	給食棟・楽山寮横	0.90	⑧	掬泉寮裏	0.52		計	13.88

○牧草の収穫 (平成 27 年度)

刈取日	収納日	梱包個数	圃場	刈取日	収納日	梱包個数	圃場
6/12	6/16	136	向陽寮		8/28	116	向陽寮裏
					8/28. 29	302	神社山
6/15	6/18	278	神社山	8/25			
		220	神社山・給食棟		8/29	45	洗心寮前
		138	洗心寮前	8/28	8/29	222	楽山寮・給食棟
7/3	7/6	138	掬泉寮裏			128	礼拝堂裏
		237	四町畑 (一部)	8/30	9/2	101	川口畑 (小)
		171	川口畑 (小)			426	川口畑 (大)
		684	川口畑 (大)	9/5	9/8	195	川口畑 (奥)
7/8. 9	7/10. 11	278	川口畑 (奥)	合計		1535	
7/9	7/12	170	礼拝堂裏				
合計		2450					

平成 27 年度 梱包個数 合計 3, 985 個 (平成 26 年度 5, 234 個)

○牛群構成 (ホルスタイン、ジャージー)

(平成 27 年 4 月)

区分	経産牛							育成牛			総計
	7-10 歳	6 歳	5 歳	4 歳	3 歳	2 歳	計	1 歳	0 歳	計	
頭数	4 (1)	2	4 (1)	3	4 (2)	4 (1)	21 (5)	9 (2)	10 (2)	19 (4)	40 (9)

() 内は、ジャージーの頭数で、内数である。

(平成 28 年 3 月)

区分	経産牛							育成牛			総計
	7-10 歳	6 歳	5 歳	4 歳	3 歳	2 歳	計	1 歳	0 歳	計	
頭数	1	4 (1)	3	3 (1)	4 (2)	7 (2)	22 (6)	7 (2)	8 (3)	15 (5)	37 (11)

() 内は、ジャージーの頭数で、内数である。

○分娩件数 平成 27 年度 (27. 4~28. 3) 19 頭

○ 生産乳量 135. 2 t 販売金額 10, 236, 137 円
(平成 26 年度 129. 6 t 9, 532, 552 円)

○ 固体販売頭数 20 頭 販売金額 2, 516, 541 円
(平成 26 年度 11 頭 774, 859 円)

○ バター生産量 118. 6 kg 527 個 : 225g 入

(平成26年度 116.7kg (519個:225g入))

Ⅷ 見学等の来校者の対応状況

月	件数	人数			
4月	5件	11名	10月	4件	34名
5月	3件	8名	11月	3件	28名
6月	7件	105名	12月	1件	5名
7月	5件	24名	1月	1件	6名
8月	2件	5名	2月	1件	5名
9月	11件	118名	3月	2件	6名
			計	43件	350名